ヘルプマーク

義足や人工関節を使用しているかた、内部障害や難病のかた、または妊娠初期のかたなど、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう作成されたマークで、ジス規格です。

オストメイトマーク

人工肛門・人工膀胱を造設している人（オストメイト）のための設備があることを表しています。ジス規格です。オストメイト対応のトイレの入口・案内誘導プレートに表示されています。

**ハート・プラスマーク**

「身体内部に障害がある人」を表しています。身体内部（心臓、呼吸機能、じん臓、膀胱・直腸、小腸、免疫機能）に障害があるかたは外見からは分かりにくいため、様々な誤解を受けることがあります。

内部障害のかたの中には、電車などの優先席に座りたい、近辺での携帯電話使用を控えてほしい、障害者用駐車スペースに停めたい、といったことを希望していることがあります。

はくじょうSOSシグナル普及啓発シンボルマーク

はくじょうを頭上５０ｃｍ程度に掲げてＳＯＳのシグナルを示している視覚に障害のある人を見かけたら、進んで声をかけて支援しようという「はくじょうＳＯＳシグナル運動」の普及啓発シンボルマークです。

手話マーク

耳がきこえない人が手話のコミュニケーションの配慮を求めるときのマークです。

当事者からの提示は「手話で対応をお願いします」の意味です。

窓口等での掲示は「手話で対応します」、「手話でコミュニケーションできる人がいます」等の意味です。

筆談マーク

耳がきこえない人などが相互に紙に書くことによるコミュニケーションの配慮を求めるときのマークです。

当事者からの提示は「筆談で対応をお願いします」の意味です。窓口等での掲示は「筆談で対応します」の意味です。